豊溪通信

練馬区立豊溪小学校
学校通信　　特別号
令和3年3月1日発行

令和2年度　豊溪小学校教育活動アンケートの結果報告

日頃より、本校の教育活動に深いご理解とご協力をありがとうございます。また、本年度の学校教育活動アンケートは、Webでのご回答に多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。皆様からお寄せいただいたアンケートの集計結果と考察を下記のとおりまとめましたのでご報告させていただきます。

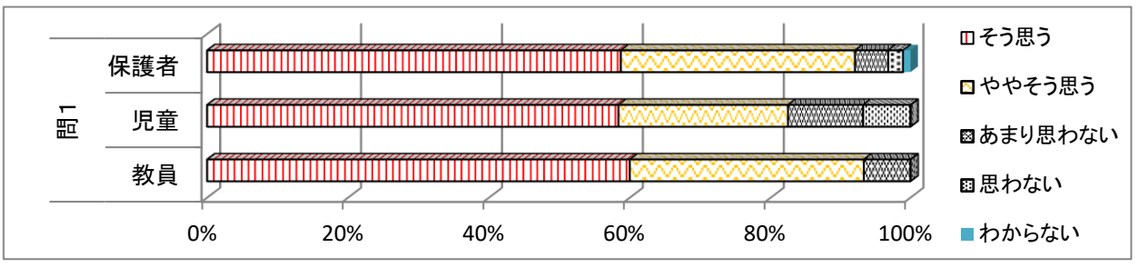
記

回答数　教員…15名　児童…400名　保護者…197名

（A）そう思う　（B）やや思う　（C）あまり思わない　（D）思わない　（E）分からない

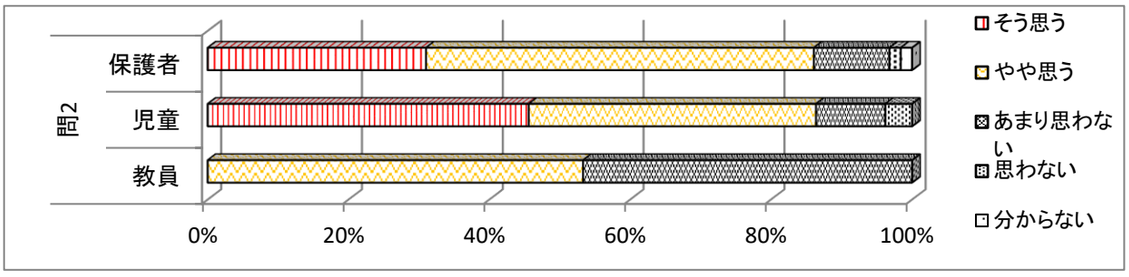
評価項目		A＋B（%）	C＋D（%）	E（%）
1　楽しい学校	教　員	93%	7%	0%
	児　童	82%	18%	0%
	保護者	92%	7%	1%
2　話を聞く態度や能力	教　員	53%	47%	0%
	児　童	86%	14%	0%
	保護者	86%	12%	2%
3　話す態度や能力	教　員	40%	60%	0%
	児　童	78%	22%	0%
	保護者	69%	29%	2%
4　読書の習慣	教　員	90%	10%	0%
	児　童	70%	30%	0%
	保護者	59%	41%	0%
5　挨拶や返事の励行	教　員	47%	53%	0%
	児　童	87%	13%	0%
	保護者	83%	16%	1%
6　規範意識の定着	教　員	79%	21%	0%
	児　童	89%	11%	0%
	保護者	91%	8%	1%
7　家庭学習の習慣	教　員	71%	29%	0%
	児　童	85%	15%	0%
	保護者	89%	10%	1%
8　授業の進め方	教　員	85%	15%	0%
	児　童	88%	12%	0%
	保護者	81%	7%	12%
9　教育相談の体制	教　員	100%	0%	0%
	児　童			
	保護者	85%	5%	10%
10　教職員の応接態度	教　員	100%	0%	0%
	児　童			
	保護者	93%	2%	5%
11　校舎内外の環境美化	教　員	81%	19%	0%
	児　童			
	保護者	81%	10%	9%
12　情報発信	教　員	80%	20%	0%
	児　童			
	保護者	93%	6%	1%

問1　　児童は、楽しく学校に通っていると感じる。



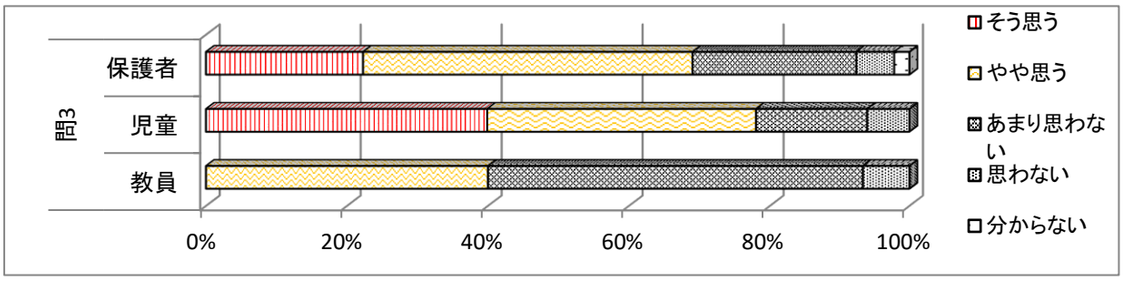
三者とも高い割合で学校は楽しいと回答しています。しかし、楽しくないと感じている児童がいることも真摯に受け止めています。集団で生活する学校において、友達と過ごす楽しさは大きいものと考えます。より一層子供同士の関わり合いを大切にした指導を行い、どの児童も楽しい学校生活が送れるよう工夫します。

問2　　児童は、話をしっかり聞く態度が身に付いている。



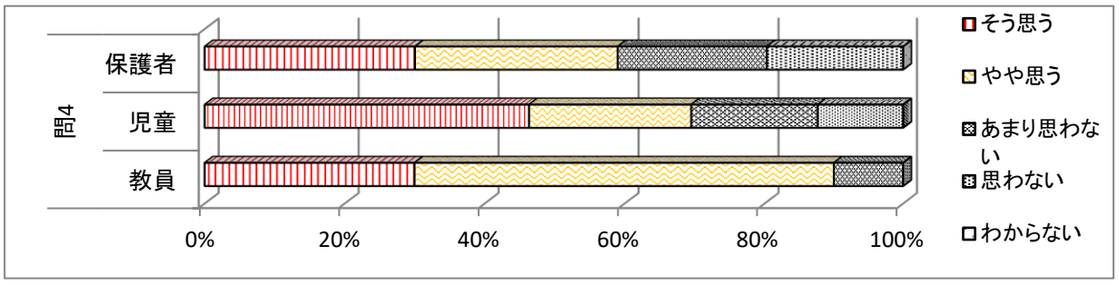
児童の8割程度は、肯定的に評価しています。
授業中や校外学習での移動時や集まって指示を聞く場面等では十分とはいえないことがありました。
今後も繰り返し指導してまいります。

問3　　児童は、相手にわかるように話す態度が身に付いている。



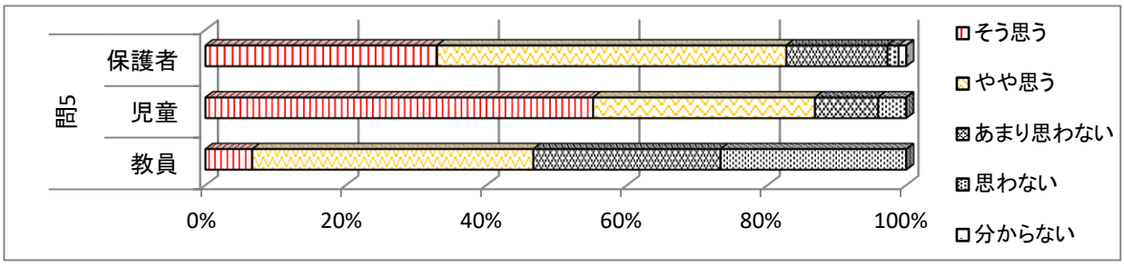
児童、保護者の7割程度は、肯定的な評価です。「思いや考えを伝え合う」研究の成果もあり相手を意識して話すようになってきました。今後も意欲的に自分の思いや考えを順序よく話すことや理由や根拠を添えて意見を述べることなどの力を伸ばしていく指導が必要であると考えます。

問4　　児童は、読書の習慣が身に付いている。



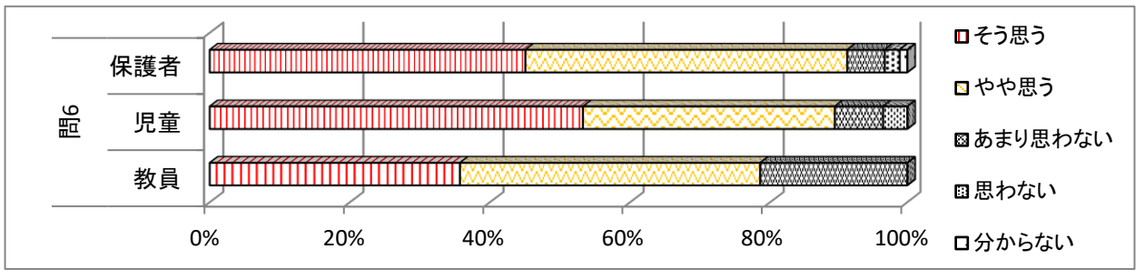
学校図書館管理員の適切な支援で図書館は充実してきています。読み聞かせや図書ボランティアの方々のご協力には日頃より大変感謝しております。おかげさまで児童の図書への興味がとても広まりました。さらに図書や国語の時間だけではなく、各教科の調べ学習にも活用して様々な本に出会える機会を作っていきます。

問5　　児童は、挨拶や返事が身に付いている。



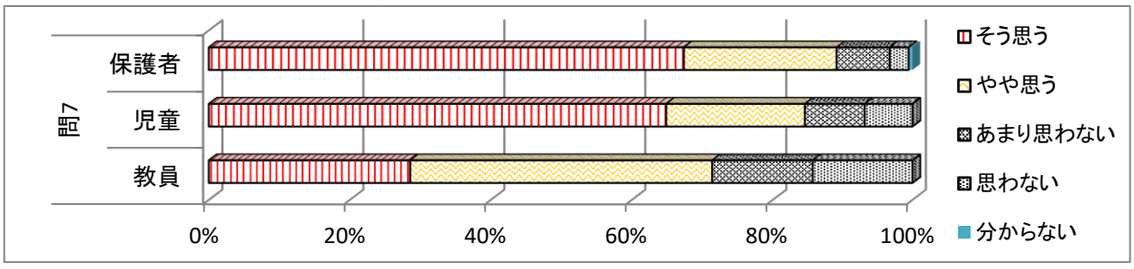
全学年による挨拶運動等の成果はあるが、課題もあると考えます。計画的に週目標に取り入れ全校一斉に重点的・具体的な指導を行う期間を作り、児童の意識を高めていきます。まず、教職員全員が手本となるよう、「気持ちの良い挨拶」と「はきはきとした返事」について励行していきます。

問6　　児童は、決まりを守る態度が身に付いている。



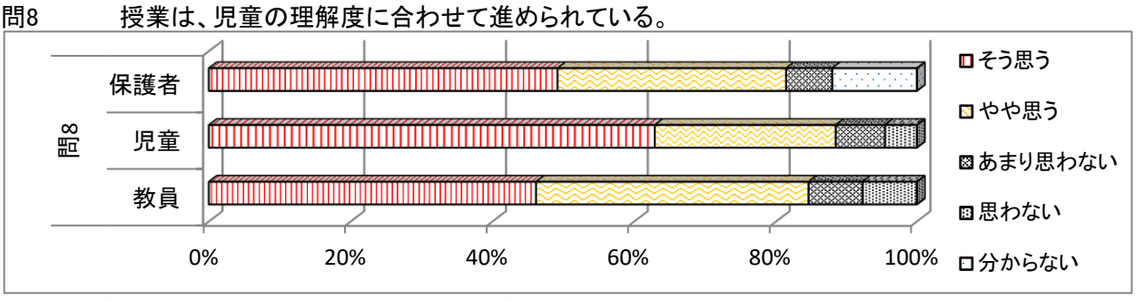
学校ではなぜそのような決まりがあるのか、児童一人一人に分かりやすく指導を行っていきます。児童が役割や責任を果たしていく場面を全教育活動に設定し、「人の役に立っている」「自分は頼りにされている」「感謝されて嬉しかった」といった経験を重ねることで規範意識を支える自己有用感を高めていきます。

問7　　児童は、忘れずに宿題をする態度が身に付いている。



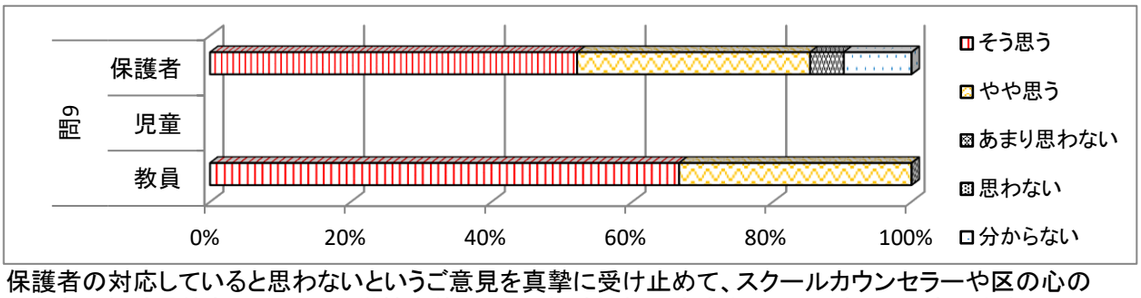
児童、保護者の約8割が肯定的な評価をしていますが、「言われるまでやらない」という課題をよく耳にします。学校からの宿題は家庭学習に取り組むきっかけとなり、生活習慣という観点から見れば家庭の取組によるところが大きいです。学校と家庭の連携を充実させ児童の意欲の向上を図り改善していきたいと考えます。

問8　　授業は、児童の理解度に合わせて進められている。



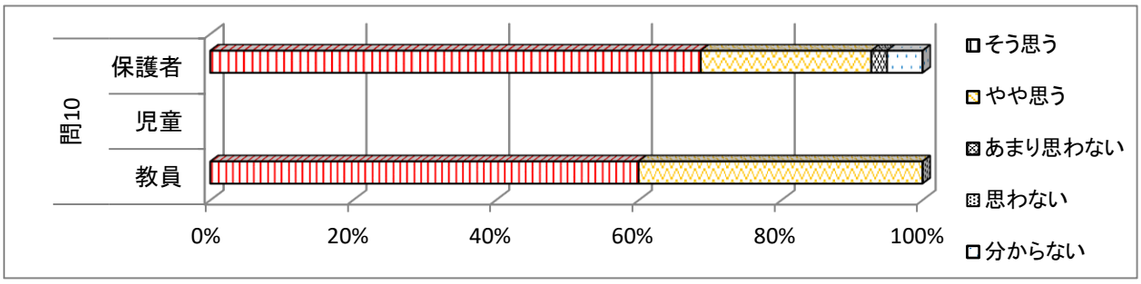
教師が学習指導力の充実に努め、児童がより理解しやすい指導方法を追求し、授業を改善していきます。これからも「わかる・できる・伝え合う」を重視し、学力向上につなげていきます。
また、習熟度別指導やT・T指導、ICT機器の効果的な活用にも、積極的に取り組んでまいります。

問9　　教職員は、保護者の相談を親身になって聞き、対応している。



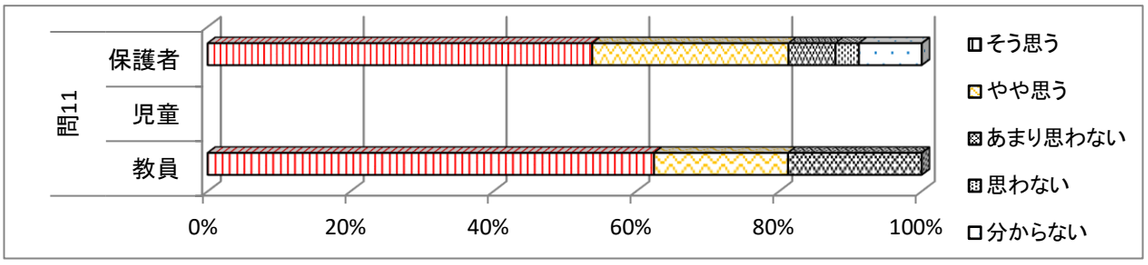
保護者の対応していると思わないというご意見を真摯に受け止めて、スクールカウンセラーや区の心のふれあい相談員等も活用し、より学校全体としての相談機能の充実を図っていきたいと考えます。

問10　　教職員の電話応対や来校者への応接態度はよい。



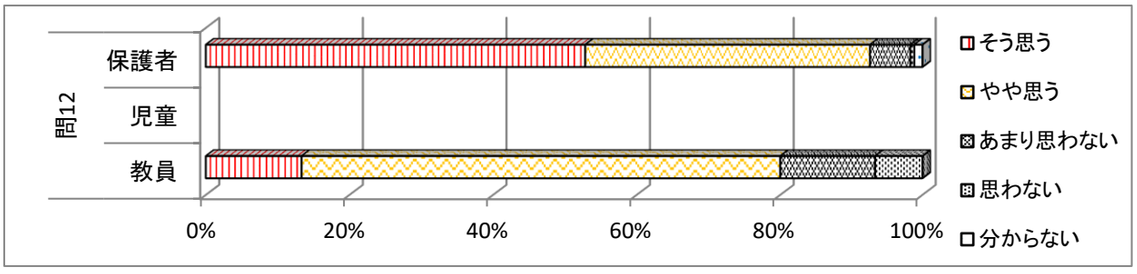
約9割の保護者の方から肯定的な評価をいただきました。しかし、厳しいご意見もあることを受け止めて、今後も、全教職員が明るく、元気のよい返事やさわやかな応接態度を心がけるとともに、迅速な対応、適切な言動・電話対応、清潔感のある身なり等の徹底をしていきたいと考えます。

問11　　学校の内外の清掃が行き届いている。



約8割の保護者の方から肯定的な評価をいただきました。「体育館のホコリが気になる」とのご意見がありましたので、改善していきます。これからも、児童にとって気持ちよく学習しやすい環境を整えていきます。

問12　　学校は情報発信を十分に行っている。（各種通信、HP、緊急メール等）



9割の保護者の方から肯定的な評価いただきました。「学校連絡メール」もほとんどの保護者の皆様に登録のご協力をいただき感謝しております。引き続き、学校での児童の様子が分かりやすく伝わるよう工夫します。